

F S P S 佐久市八風太陽光発電所事業に係る令和 4 年度事後調査報告書の概要

3 F S P S 佐久市八風太陽光発電所事業

(1) 事業の概要

① 事業者	合同会社F S P S 八風
② 事業実施区域	佐久市香坂字下岩合 390 他
③ 事業の内容	太陽光発電所の設置
④ 事業の規模	発電出力 29.97MW (再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく認定発電出力)
⑤ 条例該当	第1種事業：電気工作物－太陽光発電所（敷地面積 50ha 以上）
⑥ 関係地域	佐久市

(2) 事業の経過

H29. 2	計画段階配慮書公告
H29. 11	環境影響評価方法書公告
R 4. 3	環境影響評価準備書公告
R 4. 12	環境影響評価書公告
R 5. 3	対象事業着手報告書提出

(3) 事後調査報告書の概要

- 令和 4 年度は、工事中における水象、植物、動物、生態系の調査結果等を報告。
- 水象
 - ・河川 5 地点、観測井戸 2 地点において、河川流量、地下水位、降水量を測定。
 - ・降水量に応じた河川流量、地下水位は環境影響評価時の調査結果等と同様の傾向にあり、顕著な変化は見られていない。

○ 植物

ヤマトテンナンショウ	移植実施前の生育状況調査	改変域及びその周辺において32株の生育を確認 (R4. 6・10)。
	移植	32株を移植 (R4. 12)。
	播種	440地点へ播種 (R5. 3)。 * 1 地点あたり 1～2 粒の種子を播種。
ハナネコノメ	移植実施前の生育状況調査	改変域及びその周辺において213株（マット状に生育するため生育密度を基に推定した株数）の生育を確認 (R4. 8・9・10)。
	移植	213株を移植 (R4. 12)。
オニヒョウタンボク	移植実施前の生育状況調査	改変域及びその周辺において229株の生育を確認 (R4. 9)。
	移植	228株を移植 (R4. 12)。 * 移植時に 1 個体がマーキングの消失により発見できなかったため、移植株は228株とした。
サクラソウ	最新の生育地を確認しながら、改めて施工範囲（改変域）との調整を行った結果、本種の生育地を全て施工範囲から除外することが可能となったため、移植等の対象から除外した (R4. 8、R5. 3)。	
コカモメヅル	評価書時点で 1 個体の生育が確認されていた本種は、移植時に生育確認地点及びその周辺では確認できず、移植等の対象から除外した (R4. 8・9・10)。	

○ 動物

【昆虫類：チョウ類】

ヒョウモンチョウ本州中部亜種	移植実施前の生育状況調査	改変域及びその周辺において本種の食草であるワレモコウ 9 株の生育を確認 (R4. 10)。 なお、本種の卵、幼虫及び蛹は確認されなかった。
	食草の移植	6 株*を移植 (R4. 12)。

ベニモンマダ ラ本土亜種	移植実施前の 生育状況調査	改変域及びその周辺において本種の食草であるクサフジ9株、 ツルフジバカマ8株の生育を確認 (R4. 10)。 なお、本種の卵、幼虫及び蛹は確認されなかった。
	食草の移植	クサフジ8株*、ツルフジバカマ6株*を移植 (R4. 12)。
アサマシジミ 本州亜種 (中 部低地帯亜 種)	移植実施前の 生育状況調査	改変域及びその周辺において本種の食草であるナンテンハギ 26株の生育を確認 (R4. 10)。 なお、本種の卵、幼虫及び蛹は確認されなかった。
	食草の移植	25株*を移植 (R4. 12)。
ヒメシロチョ ウ北海道・本 州亜種	移植実施前の 生育状況調査	改変域及びその周辺において本種の食草であるツルフジバカ マ8株の生育を確認 (R4. 10)。 なお、本種の卵、幼虫及び蛹は確認されなかった。
	食草の移植	6株*を移植 (R4. 12)。

*「移植前調査時の移植株数 (地点数)」と「移植地別の移植株数 (地点数)」で数が異なるのは、移植前調査時点 (令和4年10月) から移植実施日 (令和4年12月) までに個体が消失したためである。

【鳥類：希少猛禽類】

ハイタカ	繁殖状況調査	令和5年2月に5例、3月に8例確認したが、特定の場所に集中した行動は認められなかった。 3月に平成29年営巣木近傍で、繁殖活動期間の防衛行動と考えられるトビに対する攻撃がみられた*。
ハチクマ	繁殖状況調査	令和5年2月、3月の調査実施日において、本種の個体は確認されなかった。
オオタカ	繁殖状況調査	令和5年2月に1例、3月に3例確認した。 3月に香坂川左岸側 (計画地とは反対側) の平成29年及び平成30年繁殖巣上空で指標行動を確認した。
クマタカ	繁殖状況調査	令和5年2月に20例、3月に23例確認した。 2月に確認したペアは、計画地北東部で繁殖行動を行った点、計画地北側の尾根を通過する飛翔例がほとんど確認できなかった点から、本年に繁殖を開始し、繁殖行動を確認した箇所周辺で営巣する可能性が示唆された*。しかしながら、3月はペアの並び止まりを確認したものの、交尾や巣材運びなど明確な繁殖兆候は確認できなかった。
ハヤブサ	繁殖状況調査	令和5年3月に4例確認した。 3月に計画地西側の香坂ダム南東側で指標行動 (ハンティング) を1例確認した。

*ハイタカ、クマタカの繁殖兆候が見られたため、コンディショニング対応フローチャートを作成し、対応の基準を明確化した。資材や建設機械の搬入や稼働は、計画地北側でのクマタカ等の繁殖兆候が見られた箇所から遠い工区から始め、2週間程かけ徐々に近くの工区へ拡大するなどの配慮を行った。また、現場施工管理における騒音上限値を設定し、特に計画地北側でのクマタカの繁殖兆候を踏まえ工事中の騒音をモニタリングした。また、猛禽類への配慮事項をまとめたリーフレットを作成し、工事関係者への啓発を行った。

○ 生態系

- ・特殊性の指標種として移植対象種としていたサクラソウは、「植物」に示したとおり、移植等の対象から除外した。
- ・上位性の指標種としたオオタカは、「動物」に示したとおり、繁殖状況調査を行い、繁殖兆候に応じた配慮を行った。